

五里地区小中一貫教育学校

【第6号】

建設準備委員会だより



このたよりは、五里地区の小中一貫校の開校に向けた準備の情報をお届けするものです。今号では、第6回建設準備委員会の様子をお送りします。

第6回建設準備委員会を開催

7月11日(月)に第6回建設準備委員会を開催しました。千葉県成田市にある小中一貫校、下総みどり学園において、先進校視察を行いました。



【視察内容】

- (1) 開会行事
- (2) 清掃活動見学
- (3) 授業・施設・スクールバス見学
- (4) 下総みどり学園の概要説明・質疑応答

千葉県成田市立下総小学校・下総中学校

(下総みどり学園)

住所：千葉県成田市名古屋1214

特徴：4つの小学校が統合し、平成26年度に下総中学校との小中一貫校として開校。平成29年4月からは、義務教育学校へ移行予定

清掃活動見学

下総みどり学園では、1～9年生(小学1年生～中学3年生)が縦割り班に分かれ、異学年交流として清掃活動を行っています。上級生が指示を出している様子や協力して清掃に取り組んでいる様子を視察しました。下級生は上級生の姿を見て学び、上級生はリーダーシップが育まれています。



授業・施設・スクールバス見学

清掃活動見学の後、実際に授業が行われている様子や施設、スクールバスでの下校の様子を見学しました。校内には、5・7年生合同の宿泊学習などの異学年交流に関する掲示や4・3・2の学年ブロックに応じた普通教室配置(5～7年生の教室が1フロアに配置されている)などの小中一貫校の施設面での工夫が見られました。



下総みどり学園の概要

下総みどり学園の高山校長に学校の概要を説明していただきました。
概要は以下の通りです。

○成田市における小中一貫教育の考え方

小中連携教育の中で、9年間で途切れることのない一貫した教育課程による教育を「小中一貫教育」と捉える。

⇒一貫教育推進の4条件※に適した下総みどり学園で小中一貫教育を進めている。

- ※①中学校区内の小学校が1校であること ②学校規模が過大にならないこと
③地域からの同意、理解が得られていること ④小中学校の施設が同じ敷地内にあること

○学校経営方針（抜粋）

（6）「9年間の連続した学び」「効果的な異学年交流（学習）」「異なる子ども観を有する教員の協力体制」を、全国にさがかけて確立する学校にする。小学校教育、中学校教育特有の学校文化と呼ばれるものを超越した「下総みどり学園の文化」を創造する。

○学校教育目標

「地域とともに
夢と希望に向かって
たくましく生きる下総っ子」

○教育の概要

下総みどり学園は、下総地区4つの小学校が統合し、下総中学校と同じ敷地内で生活している学校です。1年生から9年生まで一貫した教育を行っています。

・ブロック制の導入

	下総小学校						下総中学校		
教職員数	23						19		
ブロック	前期			中期			後期		
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2
特別支援	知的			情緒			知的	情緒	
学級数	2			1			1	1	

前期ブロック（1～4年） 4年生がリーダー
中期ブロック（5～7年） 7年生がリーダー
後期ブロック（8・9年） 9年生がリーダー

5年生からは教科担任制を実施
（中学校の専門教科の教員が5、6年生の授業を行う）
1～4年生は45分授業、5～9年生は50分授業
基本的にノーチャイム

・異学年交流の取り組み

なかよし集会（1年生を迎える会）	【1～4学年】	8年生によるブックトーク	【4・8学年】
朝のしたくのお手伝い	【1・4学年】	8年生による職場体験学習発表会	【6～8学年】
業間遊び（長縄大会）	【1～4学年】	8年生誘導による健康診断	【1～4・8学年】
4・7年生による調理実習	【4・7学年】	図書委員会による読み聞かせ	【図書委員・低学年】
5・7年生合同宿泊学習	【5・7学年】	意見を交流させる学びあい	【全校】
6・8年生による英語の授業	【6・8学年】	縦割り班による全校遠足	【全校】

下総みどり学園 校長（小中一貫校になる前の下総中学校で1年間校長を経験）の説明【抜粋】

小中一貫校になる前年の中学1、2年生は、小中一貫校として開校後、8、9年生になりました。子ども達は本当に変わりました。今まで学年の中で全く発言ができなかった子が、小中一貫になり、小さい子から慕われるようになると、表情が一変しました。そういった子の中には、学校全体のリーダーになった子もいます。人から頼られること、また人に対していろいろなことを教えなくてはならない立場になった時、人は変われるということを実感しました。

○敷地と校舎

下総みどり学園は、下総中学校校舎の隣に新校舎を建設しました。新校舎には1～7年生の普通教室、旧校舎には8、9年生の普通教室が配置されています。新校舎を建設した場所は、既存校舎よりも低い位置だったため、新校舎2階部分と既存校舎1階部分を繋ぎ、施設一体型としました。また、既存のグラウンド部分に新校舎を建てたため、中学校のグラウンドは道路を挟んで隣接している土地に増設しました。



新設した小学校校舎 既存の中学校校舎

※議事録は、市のホームページ（以下のURL）で公開しています。
<http://city.omitama.lg.jp/8106.html>



今回の建設準備委員会は、日程が決定次第、市のホームページでお知らせします。委員会は自由に傍聴できますので、詳細は事務局までお問い合わせください。

発行：玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会

（事務局）小美玉市教育委員会

施設整備課 学校づくり推進係

〒311-3492 小美玉市小川4-11

電話 0299-48-1111（内線2212・2216・2217）

Eメール shisetsu@city.omitama.lg.jp